



ありがとうございます

社会福祉法人 つるかわ学園
理事長 早川 明

社会福祉法人つるかわ学園
つるかわ学園を支える会
☎195-0051
東京都町田市真光寺町
186番地
TEL (042) 735-2220
FAX (042) 736-6374
HP: tsurukawa-gakuen.com

四月一日菅官房長官は高々と元号「令和」を発表しました。

早いものではや平成天皇陛下の退位、新天皇陛下の即位など一連の祭儀も滞りなく執り行われています。特例法でつくられた十連休も終わり、世の中の賑わいも平常に戻ってきたようです。

平成の話になりますが、一月二十日町田通勤寮での四名の方の成人式に出席しました。席上来賓の特別支援学校の先生より新成人に贈る言葉を頂きました。「感謝の言葉を忘れないで生きてください。皆さん！感謝の言葉って何？。それは『ありがとう』です。この言葉が貴方たちの大きな武器、力強い味方になってくれます」と分かり易い言葉で話されました。おはよう、こんにちは、ありがとう、すいません、どういたしまして

を一日の生活の中で皆さんは何回言っているでしょうか、数えたことがあるでしょうか。

つるかわ学園の理事長に就き小田急線に乗車することが多くなりました。車中両サイドが埋まっている一つの空席に座る時、ひと声かけて座る人は稀で、当然のように無言でドンと腰を下ろして、接した人はわずかに頬をゆがめつつスマホ操作を続けます。これが普通の世間一般の風景になったのでしょうか。日本人の社会システムは恩、義理、人情、恥から成り立っているといわれてきましたが、戦後の復興の過程で日本人を縛っていたものが崩壊し、バランスを失った極端な個人主義（わたしさえ良ければ、自分が第一）が異常に蔓延しその結果、現在のギクシャクした人間関係の世の中になってし

まったのではないのでしょうか。

令和元年五月、東京オリンピックのチケットを入手しようと、サイトが百三十万回クリックされたとのこと、米中貿易摩擦は、二十一世紀の覇権争いに発展し、英国政府は機能不全に陥りEU離脱は霧の中にあります。国民の希望とは裏腹に令和元年は「不安な厳しい時代」の幕開けになるでしょう。

皆様のご協力を得て、つるかわ学園理事長を継続していくことになりました。微力ですが私のできることを精一杯やっていきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします

しおり

多くの人たちが、この施設の建設に汗を流し、共感し、惜しみない手を向けてくださったことを、感謝し続けることができれば、「つるかわ学園」は次の世代に正しく受け継がれていくものと確信いたします。

学園創立三十五周年と成人施設創設を記念し、明るく健康で元気で愉快な仲間たちの暮らしの場が、更に素晴らしいものになっていくように「ありがとうございます」と感謝し、記します。

つるかわ学園 創立碑

各事業所管理者より

地域生活援助センター

管理者 市川 嘉

平成二十年五月一日、法人グループホーム援助センター（地域生活援助センターフクシア）が法人事業として開設され、十一年が経過しました。町田通勤寮卒業生が大半を占め、現在では定員が七十七名と大所帯となっています。

現在運営しているフクシアでの十六ユニットで誇れることがありますが。それは食事提供です。ほぼ毎日のように食材購入を行い、世話人あるいは生活支援員が手作りでの料理を提供しています。季節の食材を取り入れ、利用者さんからの希望メニューに答える等々バラエティーに富んだそして栄養面も考えた食事の提供なのです。

職場から帰寮した利用者さんが「今晚のおかずは何？」と聞いてくることも多く、一般の家庭に少しも近づけることを目指しています。

食事は人生生活にとって大変重要で且つ楽しみでもあります。

今後とも可能な限り現状を続けていき、より美味しい食事の提供を続けていきたいと考えています。

**職業準備支援センター
町田市障がい者就労・生活
支援センター** りんく

管理者 藤本 英理子

気候の変化の激しい日々が続いて
おりますが、皆様いかがお過ごしで
しょうか？町田市障がい者就労・生
活支援センターりんくでは特別支援
学校の新卒の皆さんのフォローアッ
プ等が本格的に始まる時期となりま
した。五月の大型連休後、新しい環
境に慣れて疲れが出るタイミングで
今後の就労に不安を感じる方も多
く、学校の先生方と一緒にこれから
訪問しながら、長く働き続けられる
ようサポートをしていけたらと思っ
ています。新卒の方もそうですが、
新卒の方以外の登録者の方も思っ
ていないような課題にぶつかること
もあります。地域の障がい者支援セ
ンターと連携しながら生活の支援に
関わることも多い当センターです
が、人が生活していく中で必ず考え
なければならぬ親の介護や逝去等
登録者の皆さんにも当然起きる問題
なのですが、緊急時の対応の難しさ
を痛感したケースもあり、将来の生
活を意識していくこと、ご本人の生
活を支える支援機関との事前の共
有、連携を密にしていかなければな
らぬと思います。

今現在、つるかわ学園職業準備支
援センター（就労移行支援事業）で
就労を目指している利用者の皆さん
にも、働くことだけでなく、生活
していくために必要な社会資源もお
伝えしていかなければいけないと感
じています。一機関だけでその方の
問題に当たるのではなく、その方そ
の方のライフステージに合ったライ
フプランを設定・共有し、働きなが
ら豊かで充実した生活が送れるよう
ネットワークを拡げていきたいと思
います。

相談支援センター りんく

管理者 芹澤 政人

町田市の障がい者施策の基本理念
（一番大事にしたいこと）に『いの
ちの価値に優劣はない』とあります。
町田市においては、障がいのある人
の施策については、障がいのある人
のテーマを大事にしてきました。ま
た、わが国が障害者権利条約を受け
入れたことを踏まえ、『いのちの価
値』の意味をこのように深めていま
す。

「生命」の意味の「いのち」

障がいがある人もない人もみな
な、授かった命を大切に生きて
権利をもっています。

「人生」の意味の「いのち」

障がいがある人もない人もみな
な、母親のおなかの中で生を受け、
成長とともに学校に通ったり、仕事
や活動をしたり、家庭をつくったり、
豊かな老後を過ごすなど、自分の意
思で選んだ人生をおくる権利を持っ
ています。

「生活」の意味の「いのち」

障害がある人もない人もみんな、
自分の意思でえらび、働き、地域の
中でくらし、仲間とすごし、自分ら
しく生活する権利もっています。

これらの「いのち」の価値は、障
がいのある人もない人もみんな平等
です。町田市では、市民のだれもが
もつこれらの権利を一番大事にした
いこととして位置付けています。

以上の文章は、町田市障がい者・
児相談支援指針の第一章の文を引用
したのですが、相談支援を行うに
あたっては一番大事にしたいこと
であり、町田市相談支援部会に携わら
せていただいている中で、是非知っ
ていただきたいと思い、紹介いたし
ました。



各事業所の活動の様子

**「町田通動寮」
オリエンテーション
& BBQ**

四月七日（日）、年度最初の行事
として、オリエンテーションを実施
しました。この行事の目的として『各
利用者が通動寮利用において、目標
や課題をイメージできるよう、支援
内容やプログラムを伝えると共に、
相互の意見交換の場にする』となっ
ています。

現在、利用されている利用者さん
は、入寮前に見学と体験を行って
います。見学の際の説明では、通動寮
利用するにあたり、『目的・目標（自
分がここを出た後、どうしたいか？
一人暮らしかGHなのか？）』をき
ちんとした目標を持って通動寮に来
ていただきたいと話しをしていま
す。その目標と自立に向けて、通動
寮で何をしなければならぬか、何
をすべきか？を、このオリエンテ
ーションで説明しました。

内容として、『通動寮の生活の流
れ』『生活の決まり』『金銭支援』『個
別支援プログラム』『食事』『地域生
活について』等、各項目に分けて説
明させていただきました。



主任支援員 武智 里峰

このオリエンテーションの重要性が利用者の皆さんにとってどれ程重要か理解している様子で、聞く姿勢がきちんととれていたのには、さすが社会人と思わせる程で関心いたしました。
たった二年間という期間で、色々な事を理解し吸収しなければならぬ事は、並大抵の努力では地域に送り出すことは不可能です。その厳しい現実を理解していただきつつ、利用者が二年後をイメージできる環境を提供できるよう、私たち支援者も努力しなければならぬと、このオリエンテーションで感じた次第です。厳しい中にも、楽しさも交えながら、寮生活を送って頂きたいと思えます。

四月七日オリエンテーションの後、バーベキューを実施いたしました。数日前から職員と女性利用者さんと買い物も行き準備万端です。オリエンテーションの間はずっと着席していたので、利用者の皆さんは身体を動かしたくて直ぐに中庭では火起こし食堂ではおにぎり作りなど始まりました。
バーベキュー初体験の方、何度も経験している方など様々ですが、皆で協力して準備します。炭に火が付くまでは時間がかかりますが男性利用者さんが頑張ってウチワであおいだりして食堂内ではエプロン姿の女性利用者さんが率先して色々と動いていました。調理の遠藤さん高橋さんも炊飯・けんちん汁・サラダ作りをしてくださいました。

支援員 小林 美樹



平成三十年度 十年勤続者

- ・ 輿石 大輔
- ・ 入江 就仁
- ・ 森内 正敏
- ・ 羽鳥 夕子
- ・ 宇佐美 優子
- ・ 中山 由夫
- ・ 高瀬 博子

計7名
おめでとございます。



こんにちは。私は現在、東ヶ丘二丁目フロア（男性フロア）に所属している輿石大輔と申します。二〇〇八年五月に入職してから十一年が経ちました。これもひとえに、利用者様、各部署のスタッフ皆様のお力添えと支えがあったからこそ、ここまで働く事ができました。本当に感謝しています。

私自身、一年目の時は東ヶ丘二丁目フロアに所属し、半年後には西ヶ丘二丁目フロアに移り、そして、昨年にはまた東ヶ丘二丁目フロアに戻ってきました。あっという間に勤続十一年になりました。職場人生を振り返ってみると、いろいろな事がありました。自分の思い通りにいく事があれば、上手く行かない事もたくさんありました。その失敗をその後に活かすこともできずに、悔しい思いもたくさん経験しました。勤続年数を見ればベテランと言われますが、まだまだ未熟者で毎日が勉強です。正直、ご迷惑をおかけしている所もあります。今後周りのスタッフと話し合いを重ね、利用者一人ひとりに合わせて支援していきたいです。たくさんの経験を糧にし、将来に活かせるようにできればと思っています。これからも、より一層努力をしていきますので、皆様からのご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。



職員インタビュー Vol.5

氏名 鈴木 友和

Q1 出身地と出身校

出身地：東京都町田市
出身校：光明学園
相模原高等学校

Q2 入職日

平成二十二年七月

Q3 所属

グループホーム
ドリーム事業所

Q4 入職のきっかけ

つるかわ学園調理スタッフとして入職しました。その後、支援の方に誘いがあり、支援スタッフとしてはたらき始めました。

Q5 働いての感想

今まで十四年程料理を作る仕事をして来ましたが、初めての福祉の支援の仕事ですが、初めは分からない事や不安がありました。年数が経ち、楽しく好きな仕事になりました。今後も、皆さんがより良く生活出来るように頑張りたいです。

Q6 今後の抱負

福祉関係の資格を取得する。

Q7 リフレッシュ法

ドライブ(景色を楽しむ)

Q8 趣味

バドミントン
人数が集まれば運動をしたいです。

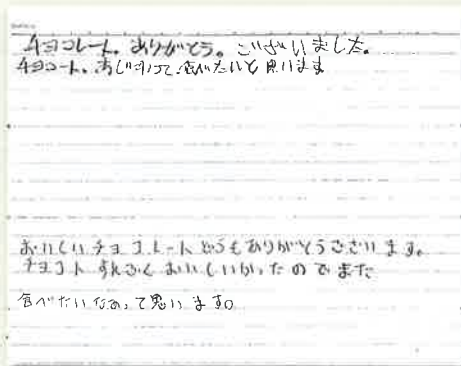
Q9 私の一押し

季節のフルーツを美味しい時期に食べる事。

感謝

株式会社正栄デリシイ様よりチョコレートのお菓子の寄贈をいただきました。

利用者の皆様おしくいたいただきました。ありがとうございました。



つるかわ学園 ホームページ
日常のようす、行事のお知らせ等がご覧になれます
アドレスはこちら!!
HP: tsurukawa-gakuen.com
[Illustration of a computer monitor with a smiley face]

つるかわ学園を支える会のご案内

「支える会」について
国家的財政困難と世情不安定の中にあつて、施設も苦しい状況に置かれています。私達は私達なりに苦しさの中にあつても福祉を支える者として努力を惜しまず頑張っています。今一步の力の支えをこうした形で求めるのは本当に心苦しいのですが、市民の皆様の小さな善意はやがて大きな力を生む礎となる事をお約束します。
どうか「つるかわ学園」を支える会にご入会し力を添えてくださいますようお願い申し上げます。

会費

「つるかわ学園を支える会」の会費は、一口年額二千円ですが、ひとり何口か入っていたくことを歓迎、お願いしております。

会員の方々には、毎年三回発行するつるかわ学園の機関誌「つるかわ」をお送りし、学園の様子を続けてご報告するとともに、この人達の幸せを願う者同志としての親交を深めます。

入会方法

入会してくださる方は、振込用紙を学園にご請求下さい。

振替口座番号

〇〇—一〇—七—一九四〇二九

加入者 社会福祉法人 つるかわ学園